

活用するスマート農業技術

自動操舵トラクタ、収量センサ付きコンバイン

新たな生産の方式

新品種の導入による品種構成の見直し



麦・大豆において、新品種の導入による品種構成の見直し等により作期分散を行うことで、自動操舵トラクタや収量センサ付きコンバインの稼働面積の拡大を図り、労働生産性の更なる向上を実現。

<申請者>

SKファーム 株式会社（青森県つがる市）

経営概況（2025年7月時点）

経営規模：大麦72ha、大豆300ha、
露地野菜150ha 等

従業員数：13名

<対象品目>

麦、大豆

<計画の実施期間>

5年間

<活用予定の支援措置>

補助事業の優遇措置

<生産方式革新事業活動のイメージ 等>



SKファームの皆様



収量センサ付きコンバインによる
収穫作業

～認定を受けて一言～

広大な圃場での作業効率化と労力軽減を図るため、スマート農業技術の導入に着手しました。今回の認定を契機に、自動操舵トラクターや可変施肥装置、農業用ドローンを積極的に活用し、生産の安定化と資材投入の最適化を進めて参ります。